

未来を担うたくましくしなやかな子どもたちを育てる

観山中グループ小中一貫教育構想

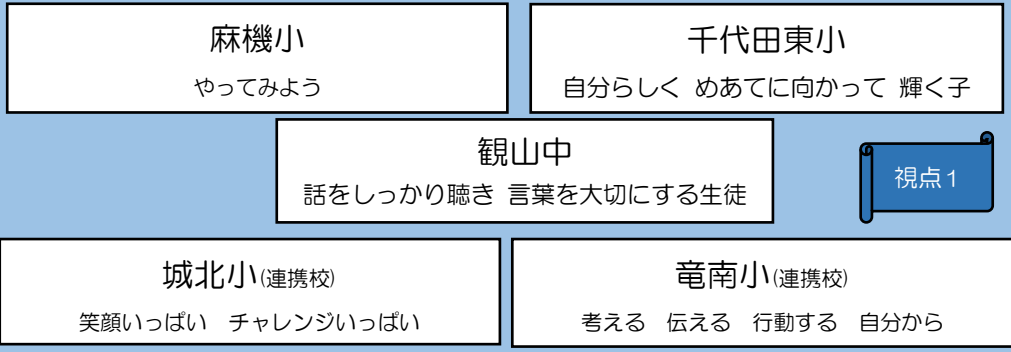
令和5年度

子どもの様子・実態

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| ○何事にも素直に取り組む | ●語彙力の不足を補い、コミュニケーション能力を高めたい |
| ○集団意識が高く、協調性がある | ●困難な課題に直面しても周囲と協力しながら粘り強く取り組ませたい |
| ○指示されたことは確実にできる | ●家庭学習を確実にを行い、基礎学力の定着を図りたい |

観山中グループの学校教育目標

心ゆたかな・実践力ある・たくましい児童・生徒



心ゆたかな子

人と関わる活動でまわりの人とわかり合
い、互いに協調して柔軟に対応できる

実践力ある子

目標の実現に向けて、本気で取り組み、
本気で挑戦することができる

たくましい子

自己を生かし、主体的な活動の中で、自
分の思いや考えを自由に表現できる

人と人とのつながりを大切にする教育

<軸となる取り組み>

「聴く」「話す」を育む・・聴く話すスキル表を用いた取り組み
ユニバーサルデザインを意識した教育環境づくり・・教室環境、授業形態（ICTの活用等）

学
習
研
修

主体的に学ぶ子 学習に向かう姿勢づくり

- 基礎基本の定着
- 家庭学習の習慣化

視点2

生
活
健
康

コミュニケーション能力の向上 よりよい集団づくり

- ソーシャルスキルを高めるための取り組み
- さまざまな人とのつながりを大切にする
- 生活習慣を意識するため記録を確実にを行う

視点2

特
活
総
合

望ましい縦割り集団づくり 縦のつながりに対する意識づくり

- 歌声活動や合唱を通しての集団づくり
- あいさつ運動や清掃など児童会・生徒会の連携

視点3

地域の連携強化

- 地域防災などを通して、地域・保護者との連携を図る
- 登下校時の、あいさつや交通安全の意識を高め、地域とのつながりを深める

視点4